作物生産の土づくりを目指して

よしむら農園　平井　智明

1　受験のきっかけ

私は、香川県丸亀市にある、よしむら農園で働いています。
よしむら農園は、2004 年に開業した有機 JAS 認証農園です。
私は、栽培を担当しており、年間 70～80 種類ほどの野菜を栽培しています。
私が土壌医を目指したきっかけは、自身の実力不足により、
安定した農作物の生産ができていない状況があったからです。
自分自身が描く農家のイメージ像に対して、不足（知識、技術、経験）を認められたことが
とても大きかったです。特に知識については、必要性を感じました。
その必要性が勉強を続けていくことにつながっていたと思います。

2　受験対策

勉強方法は、独学で行いました。受験は 2 級から受験しました。
2 級の合格後に、1 級を受験し、無事に合格をすることができました。
基礎を大切にし、3 級→2 級→1 級と順番にテキストの内容をノートに書き込み
時間をかけて理解するようにしました。
単元ごとに区切り、過去問題集を解き、理解していくようなイメージで行いました。
農家ということもあり、実際に学んだことを日々畑で確かめたり、話をすることで
記憶を深めていきました。
そして、続けていると「手応え」を感じることができました。私は、その感覚を大切にして
継続へとつなげていきました。

3　農家として

私は、土壌医として「土」を基本とし、幅広い角度から生産を捉えられるようにしていきたいと考えています。
有機農法はもちろんのこと、知らない知識のインプットを増やし、生産に携わっていきたいと思います。自身のレベルを上げていくことが、一緒に働く仲間にとっても、良い影響を作り、良い環境になっていくのだと感じています。
レベルを上げる手段としては、土壌医という資格試験、土壌医の会を通しての講演会や機関誌で
情報を得ることができるので、ありがたいものとなっています。
これからも、農家として、現場の課題に対して、1 つ 1 つアプローチを積み重ねていきたいと考えています。
栽培している地域、土壌、気候、周辺環境など様々ですが、土壌医として、実体験に基づいた対話ができるようになっていきたいと思います。
これからも、日々の研鑽を積み、作物生産の向上と土づくりを実践していきたいと思います。

栽培風景



よしむら農園

